

# 現代政策学部

社会経済システム学科

現代政策学部

# 履修の手引と手続

## I 授業科目について

現代政策学部における授業科目は、基本科目（演習科目、政策系科目、キャリア系科目、情報系科目、必修語学科目）、専門科目（専門コア科目含む）、関連科目（語学教育センター講座科目含む）からなる。その他、教員志望者のための教職に関する科目の自由科目がある。

## II 授業科目の単位と認定

本学では単位制が採用されている。単位制とは、一つ一つの授業科目に一定の基準により定められた単位であり、履修した授業科目に対して、試験その他の方法により学習評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。

## III 進級条件について

各年次で進級に必要な最低単位数は、次の表に示すとおりである。

### 【進級要件】

学年	要件	最低修得単位数
1年から 2年	次の科目を含んで18単位 フレッシュマンセミナー、又は Freshman Seminar コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D (4科目 8単位中)	4単位 4単位
	[外国人留学生] 日本語 IA・IB・IC・ID (4科目 8単位中)	4単位
2年から 3年	次の科目を含んで60単位 フレッシュマンセミナー、又は Freshman Seminar ソフォモアセミナー、又は Sophomore Seminar 政策研究基礎 A・B (2科目 4単位中) 政策研究の基礎数学 A・B (2科目 4単位中) コンピュータ・リテラシー A・B (2科目 4単位中) コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D (4科目 8単位中)	4単位 4単位 2単位 2単位 2単位 8単位
	[外国人留学生] 日本語 IA・IB・IC・ID (4科目 8単位中)	8単位

3年から 4年	次の科目を含んで90単位 フレッシュマンセミナー，又は Freshman Seminar ソフォモアセミナー，又は Sophomore Seminar 政策ゼミナール I，Research Seminar I 政策研究基礎 A・B (2科目 4単位中) 政策研究の基礎数学 A・B (2科目 4単位中) コンピュータ・リテラシー A・B (2科目 4単位中) 政策学概論 A・B (2科目 4単位中) キャリアリサーチ コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D (4科目 8単位中) [外国人留学生] 日本語 I A・I B・I C・I D (4科目 8単位中)	4単位 4単位 4単位 4単位 4単位 4単位 2単位 2単位 8単位 8単位
------------	---	--

#### Ⅳ 卒業について

(1) 卒業に必要な単位数は，次の表に示すとおりである。

ただし，自由科目（教職関連科目）の単位は，卒業に必要な単位には含まれない

区分	分野	科目名	単位数	
基本 科 目	演習科目	フレッシュマンセミナー，又は Freshman Seminar	4単位	44 単位
		ソフォモアセミナー，又は Sophomore Seminar	4単位	
		政策ゼミナール I，又は Research Seminar I	4単位	
		政策ゼミナール II，又は Research Seminar II	4単位	
	政策系科目	政策研究基礎 A・B	4単位	
		政策研究の基礎数学 A・B	4単位	
		政策学概論 A・B	4単位	
	キャリア系科目	キャリアリサーチ	2単位	
		キャリアアクション	2単位	
	情報系科目	コンピュータ・リテラシー A・B	4単位	
*必修語学科目	コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D	8単位		
専門科目	コア科目 選択必修	20単位 以上	50 単位 以上	
	選択			
関連科目（語学教育センター講座を含む）			36単位以上	
合計			130単位	

\*外国人留学生は，必修語学科目として日本語 I A・I B・I C・I D の4科目 8単位を修得すること。

語学教育センター講座科目は，12単位まで卒業単位に含めることができる。

(2) 2年次以上に編入または転部した者については、次のとおりとする。

- ① 編入または転部した者で、本学部の必修科目を振替できなかった場合は、編入又は転部した年度にその科目を履修することとする。

ただし、2年次に編入又は転部した者はフレッシュマンセミナー、政策研究の基礎数学 A・B、コンピュータ・リテラシー A・B の代替として関連科目から 6 科目 12 単位を、政策研究基礎 A・B の代替として専門科目から 2 科目 4 単位を修得することとする。

また、3年次に編入又は転部した者はフレッシュマンセミナー、ソフォモアセミナー、政策研究の基礎数学 A・B、コンピュータ・リテラシー A・B、キャリアリサーチの代替として関連科目から 9 科目 18 単位を、政策研究基礎 A・B、政策学概論 A・B の代替として専門科目から 4 科目 8 単位を修得することとする。

- ② 特別共同教育プログラム等により秋季に編入学した者は、上記の対応に加え、プレゼミナール (SEP) と政策ゼミナール II 2(SEP) を併せて政策ゼミナール II に振り替える。

また、キャリアアクションの代替として関連科目から 1 科目 2 単位を修得することとする。

## V 履修単位の上限について

各年次には、次のように履修単位の上限が決まっているので、留意して履修申請を行い進級、卒業に必要な単位数を満たすこと。

単位数 \ 年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修単位の上限	48 単位	48 単位	48 単位	48 単位

- (1) 「インターンシップ I～IV」・「国際インターンシップ I～IV」および「ボランティア I～IV」は、履修上限単位数に含まない。
- (2) 自由科目（教職関連科目）は、履修上限単位数に含まない。
- (3) 編入生については、履修上限単位数を超えて履修することを認めることがある。
- (4) 留学 (JEAP, 夏期語学研修, 春期語学研究, 交換留学) の履修上限単位数については、別途定める。

## Ⅵ 授業科目の学年配当と修得すべき単位数

### 1. 基本科目

#### (1) 演習科目

演習科目はすべて必修科目である。なお、次のとおり履修の条件がある。

- イ. ソフォモアセミナー又は Sophomore Seminar を履修するためには、フレッシュマンセミナー又は Freshman Seminar の単位を修得し、かつ2年生に進級していなければならない。
- ロ. 政策ゼミナールⅠ又は Research Seminar Ⅰを履修するためには、ソフォモアセミナー又は Sophomore Seminar の単位を修得し、かつ、3年生に進級していなければならない。
- ハ. 政策ゼミナールⅡ又は Research Seminar Ⅱを履修するためには、政策ゼミナールⅠ又は Research Seminar Ⅰの単位を修得し、かつ4年生に進級していなければならない。また、政策ゼミナールⅠ又は Research Seminar Ⅰと同じ担当教員を継続して履修しなければならない。

#### 演習科目

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数
社会経済システム学科	演習科目	1	フレッシュマンセミナー，又は Freshman Seminar	4
		2	ソフォモアセミナー，又は Sophomore Seminar	4
		3	政策ゼミナールⅠ又は Research Seminar Ⅰ	4
		2・3	※プレゼミナール (SEP)	2
		4	政策ゼミナールⅡ，又は Research Seminar Ⅱ	4
		4	※政策ゼミナールⅡ S (SEP)，又は Research Seminar Ⅱ S (SEP)	2

※印の付している科目は、特別共同教育プログラム (SEP) 秋季編入生履修科目

#### (2) 政策系科目

すべて必修科目である。

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数
社会経済システム学科	政策系科目	1	政策研究基礎 A	2
			政策研究基礎 B	2
			政策研究の基礎数学 A	2
			政策研究の基礎数学 B	2
		2	政策学概論 A	2
			政策学概論 B	2

### (3) キャリア系科目

すべて必修科目である。

学科	系列	学年配当	授 業 科 目	単位数
社会経済システム学科	キャリア系科目	2	キャリアリサーチ	2
		3	キャリアアクション	2

### (4) 情報系科目

すべて必修科目である。

学科	系列	学年配当	授 業 科 目	単位数
社会経済システム学科	情報系科目	1	コンピューター・リテラシー A	2
			コンピューター・リテラシー B	2

### (5) 必修語学科目

すべて必修科目である。

学科	系列	学年配当	授 業 科 目	単位数
社会経済システム学科	必修語学科目	1	コミュニケーション基礎英語 A	2
			コミュニケーション基礎英語 B	2
			コミュニケーション基礎英語 C	2
			コミュニケーション基礎英語 D	2
			※日本語 IA	2
			※日本語 IB	2
			※日本語 IC	2
			※日本語 ID	2

※印の付している科目は、外国人留学生履修科目

なお、日本語能力試験 N1 合格者は、申請により※印の付している科目の単位を認定し、履修を免除する。

## 2. 専門科目

専門科目は自分の所属するコースの専門コア科目から 20 単位以上を含み合計で 50 単位以上修得しなければならない。(自分の所属する専攻以外の専門コア科目も専門科目として履修することができる。)

\* 1～2の科目については、それぞれ日本語表記と英語表記と分かれているが、同一の授業内容となる。ついては、履修する場合は、いずれか1科目の履修となる。なお、日本語表記科目は日本語による授業、英語表記科目名は英語による授業となる。

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単 位 数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得 単位数	備考	
					公共政 策専攻	医療福 祉経済 専攻	ビジネ ス法務 専攻	地域イ ノベーション 専攻	国際文 化政策 専攻			
社会 経 済 シ ス テ ム 学 科	専 門 科 目	2	労働社会学 A	2						専門コア 科目から 20 単位以 上を含み 50 単位以 上選択必 修		
			労働社会学 B	2								
			会计学 A	2								
			会计学 B	2								
			刑法総論 A	2								
			刑法総論 B	2								
			現代日本の経済政策 A	2								
			現代日本の経済政策 B	2								
			社会保障論 A	2		○						
			社会保障論 B	2		○						
			産業政策論 A	2								
			産業政策論 B	2								
			不動産学 A	2								
			不動産学 B	2								
			建築基準法	2								
			都市計画法	2								
			国際政治外交史 A	2								○
			国際政治外交史 B	2								○
			財政学 A	2		○						
			財政学 B	2		○						
政治学 A	2											
政治学 B	2											

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得単位数	備考
					公共政策専攻	医療福祉経済専攻	ビジネス専攻	地域イノベーション専攻	国際文化政策専攻		
社会経済システム学科	専門科目	2	宅建特殊演習A	2							
			宅建特殊演習B	2							
			現代の法と政治A	2							
			現代の法と政治B	2							
			食と農の経済学A	2				○			
			食と農の経済学B	2				○			
			スポーツ産業論	2							
			スポーツ経営論	2							
			マクロ経済理論A	2	○						
			マクロ経済理論B	2	○						
			ミクロ経済理論A	2	○						
			ミクロ経済理論B	2	○						
			都市社会学A	2					○		
			都市社会学B	2					○		
			憲法（統治機構）	2	○						
			憲法（基本的人権）	2	○						
			社会調査法（量的調査）	2	○				○		
			社会調査法（質的調査）	2	○				○		
			行政学A	2	○						
			行政学B	2	○						
			社会安全政策論	2	○						
			公共政策学A	2	○						
			公共政策学B	2	○						
			産業心理学A	2							
			産業心理学B	2							
			社会福祉概論A	2		○					
社会福祉概論B	2		○								
健康と医療の経済学A	2		○								
健康と医療の経済学B	2		○								



学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単 位 数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得 単位数	備考	
					公共政 策専攻	医療福 祉経済 専攻	ビジネ ス法務 専攻	地域イ ノベー ション 専攻	国際文 化政策 専攻			
社 会 経 済 シ ス テ ム 学 科	専 門 科 目	2	介護概論A	2		○						
			介護概論B	2		○						
			障害者福祉論A	2		○						
			障害者福祉論B	2		○						
			金融システム論	2				○				
			金融政策論	2				○				
			経営学A	2								
			経営学B	2								
			会社法A	2					○			
			会社法B	2					○			
			民法(総則)	2					○			
			民法(物権)	2					○			
			ビジネスキャリアA	2					○			
			ビジネスキャリアB	2					○			
			地域防災政策A	2						○		
			地域防災政策B	2						○		
			環境社会学A	2								
			環境社会学B	2								
			情報セキュリティ論	2								
			情報通信政策論	2								
			プログラミングA	2					○			
			プログラミングB	2					○			
			地域政策	2						○		
			観光政策	2						○		
			環境政策A	2								
			環境政策B	2								
憲法特殊演習(統治機構)	2											
憲法特殊演習(基本的人権)	2											
Area Studies A (Asia-Pacific)	2							○				

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得単位数	備考
					公共政策専攻	医療福祉経済専攻	ビジネス法務専攻	地域イノベーション専攻	国際文化政策専攻		
社会経済システム学科	専門科目	2	Area Studies B (Europe)	2					○		
			Area Studies C (America)	2					○		
			文化史 A	2					○		
			文化史 B	2					○		
			文化政策 A	2					○		
			文化政策 B	2					○		
			Global Politics	2					○		
			International Relations	2					○		
			ジェンダー文化論	2							
			国際関係特講	2						○	
			不動産法規特殊演習 A	2							
			不動産法規特殊演習 B	2							
		3・4	デジタルビジネス論 A	2					○		
			デジタルビジネス論 B	2					○		
			交通経済学	2					○		
			交通政策	2					○		
			ゲーム論 A	2							
			ゲーム論 B	2							
			刑法各論	2							
			知的財産法 A	2							
			知的財産法 B	2							
			民法特殊演習 A	2							
			民法特殊演習 B	2							
			政策過程論	2							
			地方自治論	2							
			地方政策特講 A	2							
			地方政策特講 B	2							
国際法 A	2						○				
国際法 B	2						○				

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得単位数	備考
					公共政策専攻	医療福祉経済専攻	ビジネス法務専攻	地域イノベーション専攻	国際文化政策専攻		
社会経済システム学科	専門科目	3・4	公共経済学A	2	○						
			公共経済学B	2	○						
		NPO論	2	○			○				
		コミュニティ・ビジネス論	2	○		○	○				
		地方財政A	2								
		地方財政B	2								
		医事法制A	2		○						
		医事法制B	2		○						
		医療福祉経営A	2								
		医療福祉経営B	2								
		社会保険実務A	2								
		社会保険実務B	2								
		社会保障法	2			○					
		高齢社会の法政策	2								
		社会福祉の国際比較A* <sup>1</sup>	2		○				○		
		International Comparative Study for Social Welfare A* <sup>1</sup>	2		○				○		
		社会福祉の国際比較B* <sup>2</sup>	2		○				○		
		International Comparative Study for Social Welfare B* <sup>2</sup>	2		○				○		
		社会保障財政A	2		○						
		社会保障財政B	2		○						
		社会福祉施設経営A	2		○						
		社会福祉施設経営B	2		○						
		リスクマネジメントA	2								
		リスクマネジメントB	2								
行政法A	2		○								
行政法B	2		○								

学科	系列	学年配当	授業科目	単位数	専門コア科目 (○印が専門コア科目)					最低修得単位数	備考
					公共政策専攻	医療福祉経済専攻	ビジネス法務専攻	地域イノベーション専攻	国際文化政策専攻		
社会経済システム学科	専門科目	3・4	手形・小切手法A	2			○				
			手形・小切手法B	2			○				
			民法（債権総論）	2			○				
			民法（債権各論）	2			○				
			労働法	2			○				
			中小企業金融論	2							
			地域金融論	2			○				
			ビジネス法務A	2			○				
			ビジネス法務B	2			○				
			ビジネス英会話A	2							
			ビジネス英会話B	2							
			地域活性化論	2				○			
			地域イノベーション	2				○			
			デジタルガバメント論	2				○			
			地域情報化論	2				○			
			社会心理学A	2							
			社会心理学B	2							
			都市経済論A	2							
			都市経済論B	2							
			アート・マネジメント	2					○		
			公立文化施設論	2					○		
			芸術・文化遺産政策	2					○		
			多文化社会論	2					○		
			家族関係の法政策	2							
			政策デザイン論	2							
			政策分析論	2							
復興政策論	2										
防災政策論	2										
労働市場の法政策	2										

### 3. 関連科目

関連科目から 36 単位以上修得しなければならない。

\* 1～2 の科目については、それぞれ日本語表記と英語表記と分かれているが、同一の授業内容となる。ついては、履修する場合は、いずれか 1 科目の履修となる。なお、日本語表記科目は日本語による授業、英語表記科目名は英語による授業となる。

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社会 経済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	1	女性学 A	2	(選択) 36 単位 以上選択 必修	
			女性学 B	2		
			経済史入門	2		
			比較経済史	2		
			哲学入門 A	2		
			哲学入門 B	2		
			生命倫理 A	2		
			生命倫理 B	2		
			遺伝子 A	2		
			遺伝子 B	2		
			からだのメカニズム A	2		
			からだのメカニズム B	2		
			情報学概論 A	2		
			情報学概論 B	2		
			基礎経済学 A	2		
			基礎経済学 B	2		
			会計基礎 A	2		
			会計基礎 B	2		
			基礎社会学 A	2		
			基礎社会学 B	2		
			基礎心理学 A	2		
			基礎心理学 B	2		
			現代社会と法 (日本国憲法)	2		
			現代社会と法 (国際法を含む)	2		
家族と法 (民法入門)	2					
日常生活と法 (民法入門)	2					

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社会 経済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	1	企業と法（商法入門）	2		
			職業生活と法（労働法入門）	2		
			犯罪と法（刑法入門）	2		
			スポーツ科学Ⅰ	2		
			スポーツ科学Ⅱ	2		
			エアロビクス指導法実習	2		
			水泳・水中運動指導法実習	2		
			陸上運動指導法実習	2		
			トレーニング指導法実習	2		
			健康づくりと運動プログラム	2		
		運動指導の心理学的基礎	2			
		※	現代日本の社会経済システム	2		
		ゲーム論入門	2			
		インターンシップⅠ	2			
		国際インターンシップⅠ	2			
		課題解決演習ⅠA	2			
		課題解決演習ⅠB	2			
		海外英語研修	2			
		海外中国語研修	2			
		海外韓国語研修	2			
		海外スペイン語研修	2			
		外国語・文化研修（ヨーロッパ）	4			
		世界の中の日本A* <sup>1</sup>	2			
		Japan in the World A* <sup>1</sup>	2			
		世界の中の日本B* <sup>2</sup>	2			
		Japan in the World B* <sup>2</sup>	2			
		地域と大学	2			
グローバル社会と女性	2					
女性とダイバーシティ（女性の働き方）	2					
女性とキャリアデザイン（女性と企業）	2					

※「現代日本の社会経済システム」は、外国人留学生履修科目

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社 会 経 済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	1	国際グローバル研修	2		
			現代の地域紛争 A	2		
			現代の地域紛争 B	2		
			法律学の学び方 A	2		
			法律学の学び方 B	2		
			論理的思考法 I A	2		
			論理的思考法 I B	2		
			ボランティア I	2		
			医療福祉特講 I	2		
			日本文化論 A	2		
			日本文化論 B	2		
			自校史研究（建学の精神と大学の理念）	2		
			統計学入門 A	2		
			統計学入門 B	2		
			倫理学入門 A	2		
			倫理学入門 B	2		
			文化研究 I	1		
			文化研究 II	1		
			Oral English I A	2		
			Oral English I B	2		
			English Communication I A	2		
			English Communication I B	2		
			資格英語 I A	2		
			資格英語 I B	2		
			資格英語 II A	2		
			資格英語 II B	2		
			資格英語 III A	2		
			資格英語 III B	2		
			資格英語 IV A	2		
			資格英語 IV B	2		
			ドイツ語 I A	2		
			ドイツ語 I B	2		

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社 会 経 済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	1	フランス語 IA	2		
			フランス語 IB	2		
			スペイン語 IA	2		
			スペイン語 IB	2		
			中国語 IA	2		
			中国語 IB	2		
			韓国語 IA	2		
			韓国語 IB	2		
			ハンガリー語 IA	2		
			ハンガリー語 IB	2		
			ポーランド語 IA	2		
			ポーランド語 IB	2		
			チェコ語 IA	2		
			チェコ語 IB	2		
			マレー語 IA	2		
			マレー語 IB	2		
			Oversea Training in English A	2		
			Oversea Training in English B	2		
			Oversea Training in English C	2		
		2	資源エネルギー政策 A	2		
			資源エネルギー政策 B	2		
			地理学 A (地誌を含む)	2		
			地理学 B	2		
			論理的思考法 II A	2		
			論理的思考法 II B	2		
			Web デザイン入門	2		
			Web プログラミング入門	2		
食と健康 (医療栄養学入門)	2					



学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社 会 経 済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	2	現代日本の税制	2		
			情報公開法	2		
			個人情報保護法	2		
			中国経済論 A	2		
			中国経済論 B	2		
			数理的思考法 I A	2		
			数理的思考法 I B	2		
			体力測定評価実習	2		
			発育・発達とスポーツ	2		
			運動障害と予防	2		
			スポーツ科学Ⅲ	2		
			スポーツ科学Ⅳ	2		
			薬（薬学入門）	2		
			インターンシップⅡ	2		
			国際インターンシップⅡ	2		
			課題解決演習ⅡA	2		
			課題解決演習ⅡB	2		
			現代ライフスタイル論	2		
			時事問題演習 A	2		
			時事問題演習 B	2		
			Modern European Society	2		
			ボランティアⅡ	2		
			医療福祉特講Ⅱ	2		
			ビジネスと資格 A	2		
			ビジネスと資格 B	2		
			Oral EnglishⅡ A	2		
			Oral EnglishⅡ B	2		
English CommunicationⅡ A	2					
English CommunicationⅡ B	2					
English CommunicationⅢ A	2					

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社会 経済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	2	English Communication III B	2		
			ドイツ語 II A	2		
			ドイツ語 II B	2		
			フランス語 II A	2		
			フランス語 II B	2		
			スペイン語 II A	2		
			スペイン語 II B	2		
			中国語 II A	2		
			中国語 II B	2		
			韓国語 II A	2		
			韓国語 II B	2		
			ハンガリー語 II A	2		
			ハンガリー語 II B	2		
			ポーランド語 II A	2		
			ポーランド語 II B	2		
			チェコ語 II A	2		
			チェコ語 II B	2		
			マレー語 II A	2		
			マレー語 II B	2		
			国際政策研修	4		
		社会思想 A	2			
		社会思想 B	2			
		日本語 II A	2			
		日本語 II B	2			
		3	日本史概説 A	2		
			日本史概説 B	2		
			外国史概説	2		
			東洋哲学概説	2		
西洋哲学概説	2					
倫理学概説 A	2					

} 外国人  
留学生  
履修科目

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社 会 経 済 シ ス テ ム 学 科	関 連 科 目	3	倫理学概説B	2		特別共同教育 プログラム (SEP) 編入 生履修科目
			運動生理学	2		
			スポーツ栄養学	2		
			健康管理概論	1		
			機能的解剖学	1		
			救急処置	0.5		
			ボランティアⅢ	2		
			医療福祉特講Ⅲ	2		
			インターンシップⅢ	2		
			国際インターンシップⅢ	2		
			課題解決演習ⅢA	2		
			課題解決演習ⅢB	2		
			現代日本の法と政治 (SEP)	2		
			現代日本の経済事情 (SEP)	2		
			数理的思考法ⅡA	2		
			数理的思考法ⅡB	2		
			国際経済論A	2		
			国際経済論B	2		
			スポーツ・マネジメント論A	2		
			スポーツ・マネジメント論B	2		
		スポーツ指導論A	2			
		スポーツ指導論B	2			
		4	ボランティアⅣ	2		
			医療福祉特講Ⅳ	2		
			インターンシップⅣ	2		
			国際インターンシップⅣ	2		
			課題解決演習ⅣA	2		
課題解決演習ⅣB	2					

#### 4. 関連科目（語学教育センター講座）

語学教育センター講座科目は、12単位まで卒業単位に含めることができる。

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社会 経済 シ ス テ ム 学 科	語 学 教 育 セ ン タ ー 講 座	1	留学英語ⅠA	2		
			留学英語ⅠB	2		
			教養英語ⅠA	2		
			教養英語ⅠB	2		
			英語集中トレーニングⅠA	4		
			英語集中トレーニングⅠB	4		
			Public CommunicationⅠA	2		
			Public CommunicationⅠB	2		
			中国語集中トレーニングⅠA	4		
			中国語集中トレーニングⅠB	4		
		2	留学英語ⅡA	2		
			留学英語ⅡB	2		
			教養英語ⅡA	2		
			教養英語ⅡB	2		
			英語集中トレーニングⅡA	4		
			英語集中トレーニングⅡB	4		
			Advanced Academic English A	2		
			Advanced Academic English B	2		
			Public CommunicationⅡA	2		
			Public CommunicationⅡB	2		
		3	中国語集中トレーニングⅢA	4		
			中国語集中トレーニングⅢB	4		
			日本語特殊演習ⅠA	2		
			日本語特殊演習ⅠB	2		
			日本語特殊演習ⅡA	2		
			日本語特殊演習ⅡB	2		

特別共同  
教育プロ  
グラム  
(SEP)  
編入生及  
び留学生  
履修科目

学科	系列	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低修得 単位数	備考
社会経済システム学科	語学教育センター講座		日本語特殊演習ⅢA	2		特別共同 教育プロ グラム (SEP) 編入生及 び留学生 履修科目
			日本語特殊演習ⅢB	2		
			日本語特殊演習ⅣA	2		
			日本語特殊演習ⅣB	2		
			日本語特殊演習ⅤA	2		
			日本語特殊演習ⅤB	2		
			日本語特殊演習ⅥA	2		
			日本語特殊演習ⅥB	2		

## 5. 教職関連科目（自由科目）

教職関連科目は、希望者により選択履修できる。なお、これらの科目は自由科目であり、卒業に必要な単位に算入されない。

詳細については、教員免許状取得のための課程の頁を参照すること。

学科	系列	授 業 科 目	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年
社会 経 済 シ ス テ ム 学 科	自 由 科 目	教育学概論 A	2			
		教職論	2			
		生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）		2		
		教育心理学		2		
		教育学概論 B		2		
		教育方法（コンピュータ活用を含む）		2		
		教育史		2		
		道德教育の理論と指導法		2		
		教育課程論（総合的な学習の時間の指導法を含む）		2		
		学校と図書館		2		
		ジェンダー・教育・ダイバーシティ		2		
		スチューデント・インターシップ I		1		
		スチューデント・インターシップ II		1		
		特別支援教育		2		
		特別活動論				2
		教育相談（カウンセリングを含む）				2
		社会科教育法 A				4
		社会科教育法 B				4
		公民科教育法 A				2
		公民科教育法 B				2
		介護等体験実習（事前及び事後指導を含む）				2
教職実践演習（中・高）					2	
教育実習 I（事前及び事後指導を含む）					3	
教育実習 II					2	

## 6. オールイングリッシュ科目

現代政策学部の授業科目のうち、以下に示す授業科目(「オールイングリッシュ授業科目」)については、全て英語による授業です。

なお、これらのオールイングリッシュ授業科目を履修する場合には、次の点に留意しなければなりません。

①日本語対応科目との重複履修はできません。

(日本語対応科目のある「オールイングリッシュ授業科目」は、下表に示すとおりです。)

②授業区分(基本科目・専門科目・関連科目)は、以下に示すとおりです。

### オールイングリッシュ授業科目の日本語対応科目

#### (1) 基本科目・演習科目

系列	学年 配当	オールイングリッシュ 授業科目	単位 数	日本語対応科目	単位 数
基本 科目	1	Freshman Seminar	4	フレッシュマンセミナー	4
	2	Sophomore Seminar	4	ソフォモアセミナー	4
	3	Research Seminar I	4	政策ゼミナール I	4
	4	Research Seminar II	4	政策ゼミナール II	4

\*上記科目を履修の場合は、基本科目の必修科目となります。

#### (2) 専門科目

系列	学年 配当	オールイングリッシュ 授業科目	単位 数	日本語対応科目	単位 数
専 門 科 目	3・4	International Comparative Study for Social Welfare A	2	社会福祉の国際比較A	2
	3・4	International Comparative Study for Social Welfare B	2	社会福祉の国際比較B	2

#### (3) 関連科目

系列	学年 配当	オールイングリッシュ 授業科目	単位 数	日本語対応科目	単位 数
科 関 連	1	Japan in the World A	2	世界の中の日本A	2
	1	Japan in the World B	2	世界の中の日本B	2

## Ⅶ 授業科目の履修申請

各年次において履修しようとする授業科目は、学年初めの指定された期日に所定の方法（オリエンテーションで説明する）で履修申請をしなければならない。履修申請は、年間の受講計画をたて、**単位を修得する意思表示をする**学年初めの重要な手続きである。この履修申請を間違えたために、授業科目の履修ができなくなり、その結果進級はもとより、卒業ができなくなる場合もあるので、以下に掲げる注意事項を厳守して、誤りのないように履修申請をすること。

(1) 履修申請は、当該学部・学科の授業時間割表を参照し、曜日、時限、コマ・コード、授業科目名、開講期間、担当教員等を確認し申請を行なうこと。

\* コマ・コードとは、授業時間割表に授業科目名等と共に記載されている番号で、その時限の授業科目の固有の番号である。

(2) 履修申請をした後は、授業科目および担当教員などの変更、追加、取消しなどは認められないので、申請前に授業時間割表と照合してもう一度確認するなど、細心の注意を払うこと。なお、履修照合日が設けられているので間違いなく登録されているかどうか必ず確認すること。

(3) 履修申請をしていない授業科目は受講しても単位は認められないので、授業科目の申請にあたっては進級や卒業に必要な単位の算定を慎重に行ない、修得単位数が不足しないように万全を期すこと。

(4) 同一時限に2つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) 単位を修得した授業科目は、再度履修することはできない。

(6) 指定された期日までに履修申請を行なわない場合は、学業の意思なしとみなし、**退学を命ずる**（学則第69条）。

## Ⅷ 正規の履修からはずれる場合

### 1. 再履修

履修申請をして単位が修得できなかった授業科目については、次年度において再履修することができる。なお、再履修のクラスのある授業科目は、原則として再履修クラスで受講すること。

### 2. 規定外履修

該当するクラスの授業時間以外のクラスで受講せざるを得ない場合は、必ず学部事務室に相談すること。ただし、1年次生の規定外履修は原則として認めない。



## Ⅹ 試験について

### 1. 定期試験および臨時試験

- (1) 試験は、定期試験と臨時試験があり、定期試験は原則として学期末および学年末に行う。
- (2) いずれの授業科目も授業時数の3分の1以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失う。ただし、病気又は、正当な理由による長期欠席の場合には、特別に考慮されることがある。
- (3) 試験時間割は掲示により知らせる。
- (4) 授業科目によっては論文（レポート）提出によって試験に代える場合もある。

### 2. 追試験

- (1) 追試験は、やむを得ない事情によって定期試験を受験できなかった者に対し、原則として学期末又は学年末に実施する。
- (2) 追試験を希望する者は、正当な事由を証明する書面をもって速やかに学部事務室に届け出ること。
- (3) 追試験は、成績通知書の当該科目に T の表示がなされた場合に限り受験することができる。
- (4) 追試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (5) 追試験を受験しようとする者は、「追試験受験願」を学部事務室に提出しなければならない。追試験の受験料は、1科目につき200円である。

### 3. 再試験

- (1) 再試験は、原則として学期末又は学年末に実施する。ただし、授業科目によっては再試験を行わない場合もある。
- (2) 定期試験の結果、不合格（この場合は、成績通知書の当該科目に F の表示がなされる）となった授業科目のある者は、当該授業科目の担当教員が再試験を行う場合、受験することができる。
- (3) 再試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (4) 再試験の受験を許可された者は、「再試験受験願」を学部事務室に提出しなければならない。再試験の受験料は、1科目につき、1,000円である。

### 4. 試験に関する注意

#### 1. 通則

- (1) 試験場内では、すべて監督者の指示に従うこと。  
監督者の指示に従わない者には退場を命ずることがある。
- (2) 試験場内では、筆記用具・持込を許された資料以外のものはすべてカバンの中に入れ資料

等をむき出しのまま机の中に入れてはならない。

- (3) 学生証は机上の見やすい場所に提示して置くこと。
- (4) 試験開始から 20 分を経過した後は入室・受験を認めない。
- (5) 試験開始後 25 分間は退場することができない。監督者が退場を命ずる場合はこの限りでない。
- (6) 試験中監督者の許可を得ないで試験場を出てはならない。
- (7) 試験の行われる学期の授業料未納の者、授業時数の 3 分の 1 以上欠席した者は試験を受けることができない。受験資格のない者の答案は無効とする。
- (8) 病気・事故その他正当な事由によって受験できなかった者は、診断書・事故証明その他正当な事由を証明する書面を添えて早急に学部事務室に届出なければならない。届出の遅れや無届けの場合は評価対象外となる。

## 2. 不正行為

試験における不正行為は厳禁とし、不正行為を行った受験生は厳正に処分する。不正行為に関する定めは本書「城西大学 学内試験等における不正行為の取り扱い指針」を参照すること。

### X 成績発表

- (1) 成績発表は、開示期間に指定 URL にアクセスし、web 成績照会システムを開いて行う。
- (2) 成績評価は、下記 XI GPA についての「GP の基準」を参照のこと。
- (3) 成績についての疑問、質問等は早急に学部事務室に問い合わせること。

### XI GPA について

本学では、「GPA (Grade Point Average)」制度を導入している。以下に示すことを十分理解しておくこと。

#### 1. GPA の意味

- (1) GPA の値とは、自分の成績を数値化したものである。学期毎や学年毎までの GPA や入学からの通算の GPA を比較することで、自らの学習成果の推移を知ることができる。
- (2) GPA の値には、T 評価、F 評価および Z 評価を受けた科目についても計算に組み入れられる。したがって、安易に考えて開講期間の半ばで授業参加をやめた場合などは低い値となる。

#### 2. GPA の計算

「GPA」は、下記の基準に基づいて評価した成績の GP (Grade Point) に各科目の単位数を掛けて合計し、履修登録した科目の単位数の合計で割った 1 単位あたりの GP 平均値 (Average) である。仮に、履修した科目の成績がすべて「S」評価の場合は GPA の数値は

4 になり、すべての成績が「C」の場合は1となる。

「GPの基準」

成績評価 (表示)	評価の基準 (点)	合否	GP
S	100 ~ 90	合格	4
A	89 ~ 80	合格	3
B	79 ~ 70	合格	2
C	69 ~ 60	合格	1
F	59 以下	不合格	0
T	追試験受験可	未受験 (不合格)	0
Z	失格	不合格	0

$$\text{GPA} = \frac{[\text{GP} \times \text{当該科目の単位数}] \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (T 評価, F 評価, Z 評価科目を含む)}}$$

(注) 不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

(注) GPA 計算式に算入されない科目もある。

